新型コロナウイルス感染症拡大対策に関する緊急アンケート

＝結果・今後の展開＝

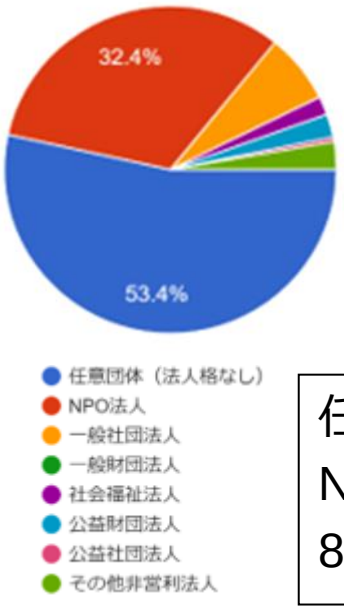
みえ市民活動ボランティアセンター
（三重県・特定非営利活動法人みえNPOネットワークセンター）

新型コロナウイルス感染症拡大対策　に関する緊急アンケート

<概要>

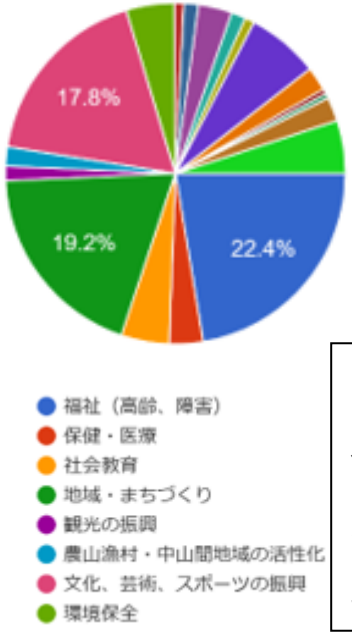
期　間　　2020年4月16日～4月30日（2週間）
方　法　　WEBによるアンケート
送付数　　691件（三重県内NPO・市民活動団体）
回答数　　219件（三重県内NPO・市民活動団体）
回収率　　31.7%

回答団体属性　【法人格】



任意団体が53.4%。次いでNPO法人32.4%と、約86%を占めた。

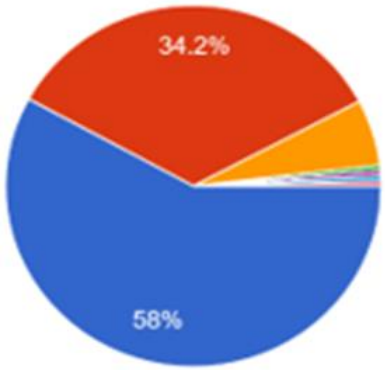
回答団体属性　【分野】



18分野のNPOからの回答。福祉分野、地域・まちづくり、文化・芸術・スポーツ振興分野が約60%。

三重県とNPO法人みえNPOネットワークセンターが協働で運営する「みえ市民活動ボランティアセンター」では、新型コロナウイルス感染症対策の影響に関する実態把握を行い、適切な支援や対応の検討を行うことを目的に、県内中間支援組織と連携をして緊急アンケートを実施。

設問１．団体への影響



●92.2%の団体は影響を受けている。

（かなり58.0%、 少し34.2%）

＜影響の内容＞

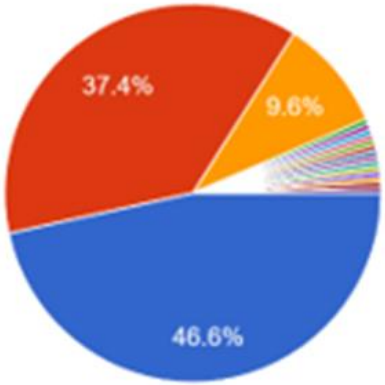
・活動・イベントの**中止・延期**、総会・理事会の**中止**
・委託事業中止のため**収入減**、下請け業務の**激減**、**団体の存続及び活動の継続の不安**
・利用者・利用者家族・スタッフの**精神的ストレス、スタッフの過重労働**
・**サービス提供制限**（要介護者・高齢者への訪問制限、各種居場所の閉鎖、病院、通訳等）

＜それへの対応＞

・事業の日時・会場の変更・延期・内容変更
・メール会議や書面総会への切り替え、オンライン活用
・スタッフの活動時間の短縮・雇用調整
・助成金や給付金の利用検討　など

設問２．団体の利用者の影響

●84.0%の団体の利用者が影響を受けている（かなり46.6%、 少し37.4%）



＜影響の内容＞

・直接社会サービスを提供している利用者への**影響は深刻**

・要介護者とその家族、一人暮らし高齢者、一人親家庭、共働き世帯、子育て世帯、障害者、外国の方、子どもたちなどの、**心身のストレスへのケアやサービスが不十分、生活困窮**など

・作業所や施設等で**働いているスタッフの雇用環境の悪化**

・マスクや消毒薬の不足

＜対応＞

・精神的ストレスを抱えている方への**電話による対応や、不安の解消につながる活動**

・自宅でできる運動や学習の提案、ZOOMやラインなどオンラインによる情報提供、手紙やFAXを利用しての励まし合いやつながりの確認など、団体の専門性やネットワークを活用して実施

・マスクや食料の**配布、**など

設問３．団体が貢献できること

子どもが音楽に親しむ場の提供、子育て情報オンラインの立ち上げ、メンタル面のサポート、マスクの流通、高齢者の安否確認、生活困窮者への支援、ネットで資金を募る、外国の人のサポート、など

設問４．行政・中間支援組織等に対しての必要なサポートや要望

・マスクや消毒など緊急に必要なものの提供、不安を抱えている人への直接サービスの支援
・多様な使途に対応できる助成金の提供、経済支援の迅速化
・テレワークシステムやテレビ会議システム構築にかかる費用支援
・多様な情報をまとめた情報発信と相談窓口の設置、中間支援組織による多様な分野の電話相談

設問５．事業の中止・延期による支払状況（行政等の委託料・助成金・補助金等）

2019年度の行政等の委託料・助成金・補助金において、中止・延期による支払状況については、委託者や事業進捗等の条件によって様々であった。

緊急アンケートで明らかになった、県内NPO等が受けている影響と課題への貢献ポテンシャル

団体への影響

物品の不足
マスクがない、消毒薬がない
・ITの機材がない

情報の不足
・総会の開催方法がわからない
・使える助成金がわからない
・コロナに感染した時の対応がわからない

資金の不足
・イベントや講座ができず収入がない
・行政からの委託費が削減されそうスタッフの賃金が払えない

ITスキルの不足
遠隔会議のやり方がわからない

利用者への影響

子ども・子育て
子ども食堂がなくなってストレス
子育て世帯の孤立化

高齢者
・高齢者・介護者のストレスがたまる
・独居老人の孤立化
・認知機能の低下・体力の低下

障がい者
・作業所の仕事が激減し工賃低下
・相談に来ることができずストレス

外国人
・就労先がなくなり生活困窮
・日本語を使う機会が減り、日本語能力検定試験に影響

発生している課題への貢献ポテンシャル

余剰マスクを収集・配布したい

中間支援団体による
・物品収集
・情報収集
・情報提供
・情報交換
・寄付集め
・行政との対話
・政策提言
・地域内外ネットワーク

ＩＴの専門技能を生かして協力したい

地域の飲食店のお持ち帰りMAPを作成したい

子育て情報オンラインを作りたい

オンラインの使い方講座を実施したい

ストレス解消の方法をオンラインで紹介したい

手作りマスクを一緒に作りたい

国からの10万円を生かした生活困窮支援をしたい

外国人への対応を手伝いたい

新型コロナウイルス感染症拡大状況における「ささえあい、つながり、安心感をもたらすマッチングシステム」

アンケート結果から、以下の課題を把握

マスク、消毒液等物資調達、オンライン会議のスキル習得、学習支援、不安による精神的負担（ストレス）の軽減、雇用（賃金）の確保、補助金等削減の補填、過重労働の回避、労働環境改善（スペースの確保）など。

状況改善のための「マッチングのしくみ」を提案

持っていない人と持っている人、知っている人と知らない人、できない人とできる人をつなぐことで、少しでも「安心できる暮らし」が営めるためのサポートを、地域の中間支援センターが行う。

重要となるのは、「つなぐコーディネーション」

・あらゆる分野、政府・行政、企業、NPO等情報を得るスキルがある。（課題の把握、改善を可能にする情報の把握）

・地域内にないモノや人材、情報、資金を、県全体を視野に収集可能にするスキルがある。

県内各地の中間支援団体による、地域の実情に合った課題とポテンシャルとのマッチングプロジェクト(MP)の支援及び全県的支援ネットワーク形成

A市中間支援団体

MPコーディネーター

「ドラえもんのポケット」プロジェクト

困ったことのよろず相談と解決策の提供

B市中間支援団体

MPコーディネーター

こども食堂プロジェクト

遠隔学習支援やストレス発散の場の提供

F市中間支援団体

MPコーディネーター

高齢者のストレス解消プロジェクト

自宅にいる高齢者のためのオンライン支援

みえ市民活動ボランティアセンター

・優れた事例の共有・発信
・必要な情報の提供
・各プロジェクトの伴奏支援
・取組みから明らかになってくる課題への取組み
・全県的な情報基盤整備・資金支援等のしくみの検討

E市中間支援団体

MPコーディネーター

生活困窮外国人支援プロジェクト

地域の生活困窮している外国人へ食料を提供

D市中間支援団体

MPコーディネーター

オンライン会議支援プロジェクト

地域のNPO等のオンライン会議の方法を支援

C市中間支援団体

MPコーディネーター

障がい者の仕事づくりプロジェクト

作業所で働く障がい者の在宅の仕事を開発

・必要なものが届いていない人々に、必要なものが届く。
・人々の暮らしと声にもとづく、サポートを行う。
・小さなマッチングシステムにより、お互いのつながり感と安心感が高まる。

・課題抱えている人
・社会サービスを要している人

課題を抱えている人を支援するNPO

中間支援センター

課題解決の為に必要なモノ・人材・スキル・情報を提供する主体

・課題を抱えている人を**支援するNPOの課題**を把握する。
・課題解決のために**必要な資源を調達**する。
・課題を抱えている人を**支援しているNPOとコミュニケーションを密**にし、課題を抱えている人にとって、**ベストな方法を提案**する。

外国にルーツをもつ人・こども

障がいを持った人

ひとり暮らし高齢者

ひとり親家庭

生活困窮者

高齢者

こども

引きこもり状態にある人

要介護者

不足しているモノ

不足している人材

不足しているスキル

不足している情報

不足しているモノ・人材・スキル・情報バンク

県センター
・マッチングモデルの汎用
・各地域の状況把握
・情報の提供
・効果の検証
・伴走奏支援

今回のアンケート結果をもとに、
各地の中間支援組織、市町と相談・検討をし、
利用者や団体が抱える課題が少しでも緩和・解消
され、
**「市民活動団体・NPOだからこそ提供できる
サービスが継続的に実施できるよう役割を果たす」**

活動継続支援

市民活動団体・NPOが活動の対象としている、脆弱な環境にある利用者等へのサービス提供に関する支援を行う。

- 物資(マスク、消毒液、食料など)の提供（仲介）

- 高齢者、障害がある人、外国人、子どもなど、脆弱な環境にある人々に対する活動に**必要な資金確保の支援、オンライン会議等のサポート、相談窓口の設置**などを行う。

活動再開支援

市民活動団体・NPO自身の運営に関する支援を行う。

- 物資(マスク、消毒液、食料など)の提供（仲介）
- 活動に必要な資金確保の支援、オンライン会議等のサポート、相談窓口の設置
- 政府や自治体から発せられる様々な施策について、特に**資金面に関する情報を中心に、市民活動団体・NPOにとって関連の深い情報を、わかりやすく整理・提供**
- すでに政府などから多くの協力金、助成金等支援メニューが出されており、NPOを対象にしているものもある。**申請にあたってのサポート**

NPO活動再開・継続支援窓口開設業務
IT（オンライン）活用支援事業

●アンケートの結果を受けて実施する事業

●県内5地域以上の中間支援組織と連携して行う。

①NPO活動再開・継続支援窓口開設業務

◆資金調達・・・NPOのニーズにあう資金調達先を紹介、申請書の書き方などのガイドを行う。

◆物資確保・・・マスクや消毒薬、食糧など提供する側、受け取る側のニーズを把握し、マッチングを支援する。

◆IT活用・・・オンラインでの会議の方法などニーズに応じて個別の相談に対応する。

②IT（オンライン）活用支援事業

◆IT活用のための講座を各機関計6回実施。

◆5機関以上の中間支援組織と5ケ所以上で実施。

◆地域のNPOのIT活用ニーズに応じた内容を実施。

◆オンラインでの情報共有や講座が行えるようにするための入門、初心者を主な対象にした内容。

事業実施予定の地域の中間支援センター・中間支援組織

みえ市民活動ボランティアセンター

＜伊賀・名張＞
- NPO法人なばりNPOセンター
- ウィリアム・テルズ・アップル

＜東紀州＞
- 東紀州コミュニティデザイン

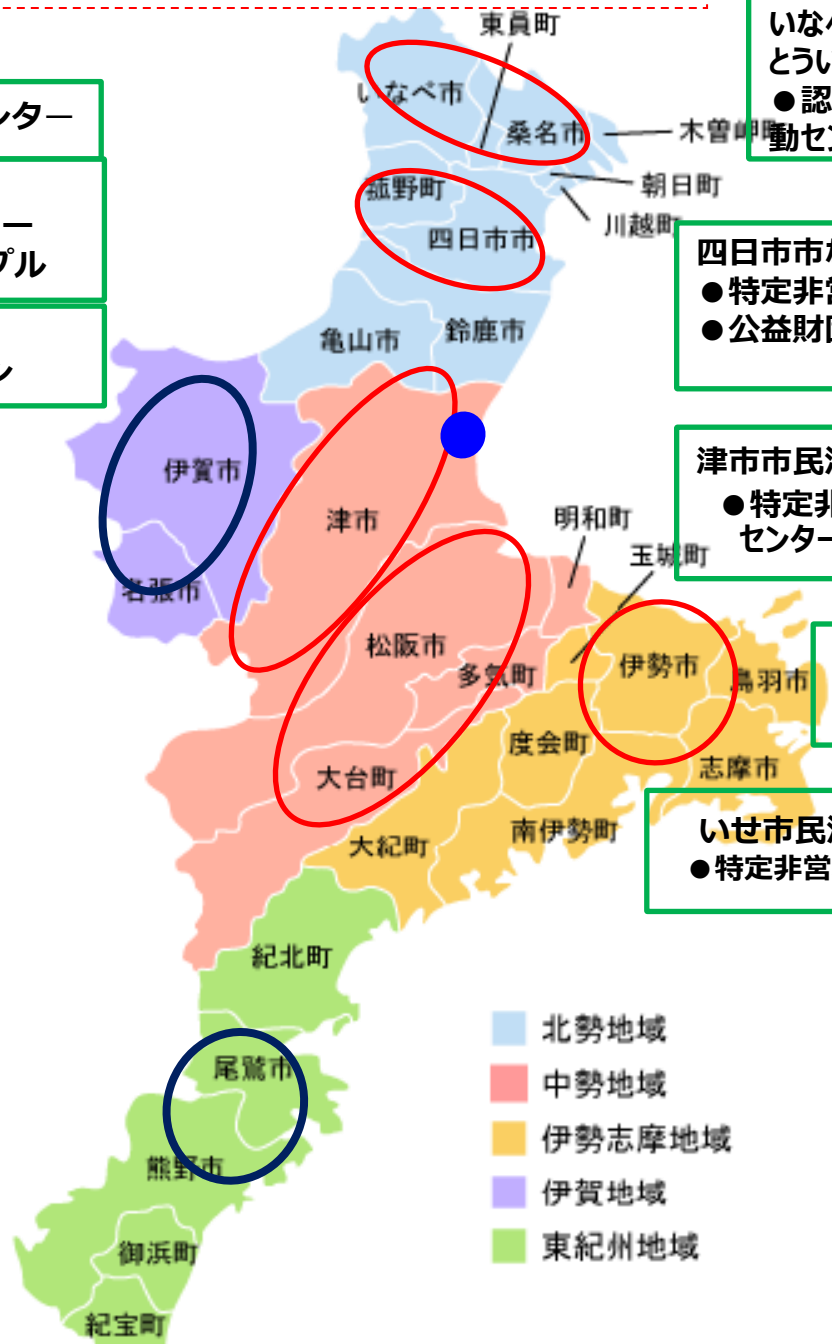
桑名市市民活動センター
いなべ市市民活動センター
とういんボランティア市民活動センター
- 認定特定非営利活動法人みえきた市民活動センター

四日市市なやプラザ
- 特定非営利活動法人市民社会研究所
- 公益財団法人ささえあい創造基金

津市市民活動センター
- 特定非営利活動法人津市NPOサポートセンター

松阪市市民活動センター
- 特定非営利活動法人Mブリッジ

いせ市民活動センター
- 特定非営利活動法人いせコンビニネット



地域NPOや中間支援センターにヒアリングをし、状況やニーズ、困りごとを把握。

他地域の情報収集。各地のNPOなど取組状況の把握。

県内の企業の取組状況の把握

資源をいかにつなぐか。

マッチングを可能のするための情報収集とコーディネート。

県・市町との情報共有や政策への提案を行う。

- 中間支援機能の検証、改善…コーディネート機能充実
- 地域間経験交流・情報交流によりNPO活動の活性化
- NPO活動充実による地域課題の改善を促進